

一人ひとりの回答が、明るい未来の礎になる

2019

全国家計構造調査

今を知り 明日をみつめる 暮らしの統計

実施期間 8～11月

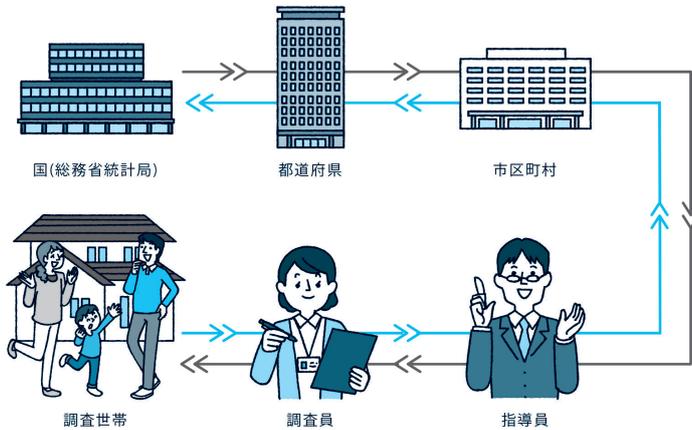
全国約90,000世帯の人を対象に、調査員が家計簿等の調査票を配布・回収します。調査員が訪問したら、ご回答をお願いします。

▶ 問合せ 役場企画政策課

全国家計構造調査ってどんな調査なの？

家計における消費、所得、資産および負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布および消費の水準、構造等を全国別および地域的に明らかにすることを目的とし、「統計法」に基づいた基幹統計として実施します。

次のような流れで調査を行います



調査員の役割

統計調査員は、都道府県知事が任命した地方公務員で、調査対象の人を訪問し、調査票の記入依頼や調査票の回収といった基本的で重要な仕事を受けています。

調査の際は「調査員証」を必ず携帯しています。



調査の結果は具体的にどのように使われるの？

たとえば、高齢者への年金給付額を検討する際、高齢者の消費支出はどれくらいなのかを把握する必要があります。一方、現役世代の保険料負担額を検討する際にも、消費状況の把握が必要です。そのための検討資料として活用されているほか、所得格差や資産格差の集計、家賃負担や住宅ローン返済の実態の把握等、様々な場面で利用されています。

個人情報保護されるの？

統計法では、調査員をはじめとする調査関係者に対して、調査票の記入内容を厳重に保護することを定めています。

調査に従事して知り得た個人や団体の秘密を漏らしてはならない

統計調査の目的以外に、調査票の記入内容を利用したり、提供してはならない

記入された調査票を適正に管理するための措置を講じなければならない



全国家計構造調査 <https://www.stat.go.jp/data/zenkokukakei/2019/>

全国家計構造調査 検索



総務省統計局・都道府県・市区町村

広報たけとよ 2019.8.1・15